

あとがき

本誌で「検査室におけるインシデント・アクシデント」を取り上げたのは、2006年の50巻4号だった。各論としては、生理機能検査、輸血検査、微生物検査、病理検査、血液・化学・免疫検査、それぞれにおけるインシデント・アクシデントについて執筆いただいた。巻頭言は筆者が担当し、そのなかで触れた「日本医療機能評価機構」が公表した報告書の内容について再掲する。2005年の1年間で病院において、患者に重い障害が残った重大な医療事故は1,114件ののぼり、原因別では、「確認を怠った」が事故全体の14.4%でトップであった。そのほか「観察を怠った」が12.2%、「判断を誤った」が11.7%であり、同機構は「基本的な動作を徹底していれば防げたミスも多い」と分析している。本号で司茂幸英先生が述べられている循環機能検査インシデントの内容は誤記入31%、依頼確認ミス26%であり、やはり基本的なミスでインシデントが発生している。

2006年の巻頭言にてもう1点、航空業界のインシデントレポートについて以下のことを述べた。「ちなみに航空業界ではインシデントレポートの質と量を決めるには5つの要因があるといわれている。①処罰に対する保護、②機密の保持と匿名化、③レポートの収集、分析を行う部門と処罰や人事管理を行う部門との分離、④報告者や施設への迅速で、役立つ、理解できるフィードバック、⑤レポートが記入しやすく容易に報告できること。

これらの考えを基本にしたシステムを医療界にも応

用したのがインシデント・アクシデントレポートである。しかし、最近の航空業界におけるインシデント発生は何が原因なのだろうか。アクシデントに繋がらないことを祈りたい。」5年前には航空業界にインシデントが頻繁に起こっていたが、幸いに航空事故(アクシデント)は発生しなかった。

このたびの2011年3月11日に発生した東日本大震災で起こった福島原子力発電所の事故については「地震・津波は“天災”だが、福島原発事故は“人災”だ」と言われている。東北地方では過去に869年の“貞観地震”(M8.4と推定)、1896年の“明治三陸地震”(M8.2~8.5)、1933年の“昭和三陸地震”(M8.1)などがあり、巨大津波が襲っている。原発の耐震安全性について議論した際に津波の専門家が津波の歴史に触れ、それ以上の津波発生対策について指摘したが、東京電力側は「歴史上の地震で、耐震設計上考慮する地震にならない」と述べ、指摘は反映されなかったという。言い訳としては「100年に一度の想定外の地震と津波」、「国民にはこれは避けられなかった災害」と“天災”を繰り返しているが、原発事故に関してはインシデントが起こっていたと思う。したがって5月7日の新聞誌上では「浜岡原発、全面停止へ! 東海地震備え、安全対策完成まで」と報じている。今後30年間にM8クラスの東海地震が発生する確率が87%であるためやむを得ない対策と報じている。(片山善章)

臨床検査 (第55巻第7号) 2011年7月15日発行(毎月15日発行)

発行 株式会社 医学書院
代表者 金原 優

〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23
販売部直通 (03) 3817-5659・5660
振替口座 00170-9-96693

本誌編集室直通 (03) 3817-5712
FAX (03) 3815-7802/3815-7982
E-mail: rin-ken@igaku-shoin.co.jp

定価 2,205 円(本体 2,100 円+税 5%)

2011 年年間購読料(送料弊社負担、税込、増刊号を含む 13 冊)

冊子のみ	30,780 円	冊子+電子版	40,000 円
電子版/個人	30,780 円	電子版/共有	35,400 円

担当 中・金澤・能藤

印刷所 (株)アイワード ☎ (011) 241-9341

広告取扱 (株)東 広 社 ☎ (03) 3409-8803

- Published by IGAKU-SHOIN Ltd., 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2011, Printed in Japan.
- 本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有します。
- 本誌を無断で複製する行為(複写、スキャン、デジタルデータ化など)は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的(診療、研究活動を含む)で上記の行為を行うことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。
- JCOPY** <(社)出版者著作権管理機構委託出版物>
本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に(社)出版者著作権管理機構(電話 03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。
- 医学書院ホームページ(インターネット)は <http://www.igaku-shoin.co.jp> です。
- 「臨床検査」URL <http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/rinshokensa/>

「臨床検査」バックナンバー「今月の主題」一覧(第53巻第7号～第55巻第6号)

第53巻(2009年)

- 7号 唾液の臨床検査
- 8 漢方薬・生薬と臨床検査
- 9 脳磁図で何がわかるか?
- 10 血栓症と臨床検査
- 11 (増刊号)医療・福祉施設における感染制御と臨床検査
- 12 オートファジー
- 13 前立腺癌

第54巻(2010年)

- 1号 POCT, 医療におけるその役割
- 2 *Helicobacter pylori* の診断と

臨床応用

- 3 骨髄増殖性疾患
- 4 広義のアポリポ蛋白
- 5 薬剤耐性菌制御の最前線
- 6 注目されるサイトカイン
- 7 排尿障害
- 8 未病を考える
- 9 糖尿病の病態解析
- 10 ファーマコゲノミクス
- 11 (増刊号)新時代のワクチン戦略について考える
- 12 脳卒中
- 13 遺伝子検査の最近の展開ーヒ

トゲノム多様性と医療応用

第55巻(2011年)

- 1号 β_2 -ミクログロブリンーその多様な病因, 病態と検査アプローチ
- 2 腸内細菌叢
- 3 更年期医療
- 4 静脈血栓塞栓症と凝固制御因子プロテイン S
- 5 癌幹細胞と検査医学
- 6 脂肪細胞

「臨床検査」年間購読をお勧めします

2011 年間購読料(送料弊社負担, 税込み, 増刊号を含む 13 冊)

冊子のみ 30,780 円 冊子+電子版 40,000 円
電子版/個人 30,780 円 電子版/共有 35,400 円

☎113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23

医学書院 販売部 雑誌年間購読係

☎ 03-3817-5660 FAX 03-3815-7804

本誌 バックナンバーのお取り扱い

53 巻 7 号以降は医学書院販売部がお取り扱いします。
それ以前のは下記にて取り扱っています。

☎171-0014 東京都豊島区池袋 4-13-4

東亜ブック

☎ 03-3985-4701 FAX 03-3985-4703

E-mail st@toabook.com <http://www.toabook.com>